

「2025年 三重県 高次脳機能障害者(児)リハビリテーション講習会」を開催しました

三重県身体障害者総合福祉センターでは、脳外傷友の会三重TBIネットワークと共催し、高次脳機能障害について広く知っていただくための講習会(三重県高次脳機能障害者(児)リハビリテーション講習会)を毎年開催しています。本年度は2025年11月8日(土)に四日市市地場産業振興センターにて開催しました。

当日は京都精華大学の**上田啓太**教授の講演をはじめ、当事者の代表として当センター職員が自分の体験を語りました。

「25歳の時、事故のために注意や記憶などの高次脳機能に障がいが残ってしまいました。新しい事が覚えにくくても、言われたことを頭の中で連呼して、記憶に残すよう努力をしながら仕事をしています。以前より何かができるときの喜びは大きいので、これからも向上心をもって生活していこうと思っています」と、障がいと向き合いながら働く日々の思いをご来場の皆様にお聞きいただきました。

2025年度 三重県 高次脳機能障害者(児)リハビリテーション講習会

日時 **2025年11月8日(土)**
13:30~16:30(13:00受付開始)

場所 **四日市市地場産業振興センター 5F大研修室** 【三重県四日市市安島1-3-18】

対象者 障害福祉・医療・行政・教育・当事者及び家族等

定員
会場参加：40名
Web参加：30名
参加費無料

プログラム

- 13:30~14:50 高次脳機能障害の理解、当事者支援、家族支援
～経験から見てきたこと～
京都大学大学院医学研究科 教授 上田 啓太 氏
- 14:50~15:00 休憩
- 15:00~15:30 三重県内における高次脳機能障がいの現状と支援方法について
三重県身体障害者総合福祉センター 職員 吉田 健一 氏
- 15:30~16:00 高次脳機能障がいと二人三脚での歩み
高次脳機能障害 当事者

申し込み・問い合わせ 脳外傷友の会三重TBIネットワーク 担当：古瀬
TEL・FAX：059-332-7729 Mail：mie-tbi@m7.cty-net.ne.jp

主催：三重県高次脳機能障害者(児)リハビリテーション講習会実行委員会
共催：脳外傷友の会三重TBIネットワーク、三重県身体障害者総合福祉センター



大丈夫、君ならできる！ 「わたSHIGA輝く障スポ2025」に同行しました



2025年10月25(土)から27日(月)にかけて、第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ2025」が滋賀県で開催され、三重県からは47名の選手が出場されました。障がい者スポーツ推進課職員も同行し、選手のみなさまがよりよい状態で競技に臨めるよう生活面のサポートを行いました。

大きな会場やほかの選手の姿に緊張や不安が高まってしまった選手もいらっしゃいましたが、同じ競技でも障がいの区分が違うと直接は対戦しないことを確認したり、これまでの自分の記録と一緒に振り返ってみたり、選手一人ひとりに寄り添ったコミュニケーションを心がけました。競技に挑む選手の思いを間近に感じ、改めてスポーツの力と素晴らしさを実感する大会となりました。



三重県選手団47名は陸上競技(競走、投てき、跳躍)、水泳、アーチェリー、卓球(一般卓球、サウンドテーブルテニス)、フライングディスク、ボッチャ、ボウリング、サッカーに出場しました。

懐メロでクリスマス 生活援助棟クリスマス会を開催しました

2025年12月20日(土)生活援助棟のクリスマス会を開催しました。ボランティアで音楽活動をされている二人組のデュオ・バンド「コニー&キンちゃん」にゲストとしてお越しいただき、「手のひらを太陽に」などの1960年代昭和歌謡を演奏していただきました。ライブの後はお楽しみのケーキを食べ、楽しいひと時を過ごしていただきました。



この日のためにクリスマスツリーの着ぐるみを手作りでご用意いただきました。

PICK UP!

障がいの区分とは？

障害区分はさまざまな機能障がいのある障がい者が、公平に競技をするためのシステムです。障がいの種類や部位はさまざまであり、勝敗の行方が運動能力や技術力ではなく、障がいの種類や程度で左右されるのを防ぐために、区分が設けられています。区分ごとに順位を競うことにより、誰もが公平に競技に参加できるようになっています。